

令和元年 11 月期月次景況調査結果

この調査結果は、中小企業庁の指定事業に基づいて設置された山口県内の情報連絡員 60 人に、本会が新たに選んだ 20 人を加えた 80 人の連絡員より業界動向を把握した結果です。

1 1 月の業種別景況の前月比 D I 値は 1 4 業種の内、好転が 3 業種、前年同等が 8 業種、悪化が 3 業種で、全体の景況感 D I 値は 1 0 月より悪化している。

食料品、小売業では、消費増税により一時的に落ち込んだ売上も回復したとの報告がある一方で、運輸業からはドライバー不足や物流停滞により、輸送量・売上ともに大きく減少したとの報告である。

山口県の中小企業は、深刻な人手不足が続いており、人材確保に苦勞している。また、キャッシュレス決済の広まりには、温度差がある。

山口県の主要指標 DI 値（令和元年 11 月末現在）

※DI 値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況 (< 好転 > - < 悪化 > = < DI 値 >)

前年同月比は、好転： 1.3% 悪化： 35.0% DI 値： ▲33.7% ポイント

売上高 (< 増加 > - < 減少 > = < DI 値 >)

前年同月比は、増加： 17.5% 減少： 41.3% DI 値： ▲23.8% ポイント










収益状況 (< 好転 > - < 悪化 > = < DI 値 >)

前年同月比は、好転： 11.3% 悪化： 33.8% DI 値： ▲22.5% ポイント

山口県の業種別 DI 値(業界の景況)（令和元年 11 月末現在）

 30 以上	 30 未満～ 10 以上	 10 未満～ ▲10 以上	 ▲10 未満～ ▲30 以上	 ▲30 未満
--	--	---	--	---

食料品	織 維 工 業	木材・ 木製品	印 刷	窯業・ 土石製品	一 般 機 器	輸 送 機 器	全 製 造 業
▲42.9	▲25.0	▲66.7	▲50.0	▲16.7	▲33.3	0.0	▲33.3
							

卸売業	小売業	商店街	サービ ス業	建設業	運輸業	その他	全 非 製造業	全 体
▲20.0	▲44.4	▲100.0	▲36.4	0.0	▲42.8	0.0	▲34.1	▲33.7
								

特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	10月は少し出荷量が落ちた模様。消費税増税分の値上げも難しく、全て転嫁できていないのでコストが増加したが、11月は年末の注文も入り忙しくしているので、10月程に深刻には思っていない。昨年と同程度の売上は見込めている。	調味料製造業
	菓子は軽減税率が適用されるが、10月以降、消費の冷え込みを感じる。契約栽培のもち米は不作となり、うるち米は台風水害の影響で品質が下がり不満が多い。共同購入であるので組合の存在価値も問われる。	パン・菓子製造業
	休日が多く営業日が少なかったため、売上が減少した。	パン・菓子製造業
	売上は対前年同月比で▲6.5%とやや苦戦。勤労感謝の日が土曜日で3連休でなかったため、この週の売上が大きく前年割れしたことがマイナスの要因。10/21からのキャッシュレス機器の導入をしたが、飲食部門で約2割、物販部門では約1割のカード決済利用率で、まだまだキャッシュレス決済が浸透していないと感じる。ケンサキイカを始め旬の魚種の水揚げが大変厳しい状況で、販売商材不足を心配している。	水産食料品製造業 萩市
	10月以降、消費低迷があるように感じる。システムなどの対応が大変面倒。運送費の値上げ要求が高まり、非常に困っている。食品の値上げも続いているが、消費に結びつくかは不透明。	水産食料品製造業 下関市
	2019年は大型台風が襲来するなど、地球温暖化の影響に、企業経営における天候リスクがさらに高まってきている。大雨による被害も続いており、突然の自然災害へ対応できるような、農産物の売り上げに関する保険制度のような仕組みづくりが必要になってきている。COP25において、日本は、アメリカと共に、二酸化炭素排出規制に関する取り組みを加速させるように勧告を受けている。地球温暖化をこれ以上進めないためにも、二酸化炭素を排出しないような社会づくりが重要となる。特に、発電については、火力発電所を抑制し、自然エネルギーを利用した発電に取り組むとともに、原子力発電に関する再検討も必要となる。二酸化炭素を排出しない社会づくりに向けて、電気自動車の普及対策や水素ステーションの充実などが必要となってきている	精穀・製粉業
繊維工業	11/8ベトナム人の技能実習生が5名帰国。	下着類製造業
	今年度の発注量は前年比で減少。来年度以降の受注が心配される。	外衣・シャツ製造業 萩市

	最賃の上昇とともに取引条件の改善を親会社に依頼したところ、十分ではないものの、加工単価がアップした。売上が微増し、収益が好転。	外衣・シャツ製造業 山陽小野田市
木材・木製品	共同販売である公共建築物関係の新規の受注は無し。製材所各社による個別の営業活動を推進している。	製材業・木製品製造業
印刷	年末需要により、月末にかけて仕事量が増加しており、昨年並みの受注量は確保できそう。	印刷 下関市
	11月も製本を伴う受注が少なく、工場も稼働していない。	印刷 山口市
窯業・土石製品	11月の出荷量は、年末にも関わらず、公共工事が少ないことに比例し減少している。 (平成30年11月) 骨材96%、路盤材111%、再生材 94% ↓ (令和元年11月) 骨材83%、路盤材 96%、再生材 87%	砕石製造業
	出荷量は、前月比112%、前年同月比105%。現時点では、セメント・骨材等の資材調達は、特に問題は生じていない。生コン販売価格は安定している。	生コンクリート製造業
	消費増税となり、受注が落ち込むかと思っていたが、我が社においては9月以降の仕事量がこれまでになく増加した。来年のうるう年を考えてかとも思ったが、うるう年という言葉は一向に出てこない。今後も安定した受注が増えることを願う。	石工品製造業
	萩市内小売店の売上は昨年並み。ギフト・卸関係・百貨店の受注は昨年と比較し減少。萩・明倫学舎の売上は昨年と変わらず。この半年間e-ショップの売上が全く無くなった。その原因を解明し、対策を考えなければならない。商品の入替えやレイアウトの変更・充実、画像の見せ方等、検討していきたい。	陶磁器・同関連製品製造業
一般機器	11月に入り、9月～10月と続いた集中的な定期修繕期間も終わり、落ち着いた企業もあるが、県外での工事用部材生産などを増やして忙しくしている企業も多くなったように感じている。取引先の景気の差が組合員の景気として反映された月であった。	下松市
	11月の景気は、前月同様に、組合の中で若干の温度差がある。自動車関連は、米中関係の影響を受けて、先行きが不透明。大型構造物関連は、県西部の大型構造物を受注しており、年内は順調。ベトナム、マレーシアなど東南アジアの工事を受注の会社は、相変わらず多忙であるが、来年4月以降は不明。米中韓の関係による政治がらみの貿易、関税、防衛などが気かり。	防府市

	<p>食肉加工、惣菜、自動車関係等実習生を入れている大半の職種で業績は好調。但し、米中貿易摩擦の影響か、半導体関連で業務量減少傾向があり、不透明な状況が続いているが、来春には回復するとの情報もあり人員の確保に舵を切り始めている。また、電気電子分野でも景気に陰りが見える。今後、日韓の貿易摩擦も含めどの程度の影響があるか状況把握に努める必要がある。介護職については要望が多いが、他の業種に比べ準備期間が長くかかるため対応しきれていない。3号移行者の入国も順調。即戦力として活躍しているが、特定技能との兼ね合いに躊躇している企業が多い。</p>	宇部市
	<p>受注が不安定で、先行き不透明となる傾向にある。</p>	宇部市
輸送機器	<p>鉄道車両では製造品ごとに各部品の供給と作業工程の違いが有り、来春位までかなり短時間の作業量が多い状況が続いている。又、海外向けの供給と台風時に水没した車両製造も重なった。半導体は右肩上がりの高い作業量水準が継続している。産業プラント部門が少し減少気味ではあるが、全体的に作業量には恵まれている。</p>	鉄道車両・同部品製造業
卸売業	<p>海苔、いりこの入荷が少なく、売上は前年同月比で▲13.6%と減少。在庫も前年同月比で▲3.4%の減少となった。12月から海苔の入札が始まるので期待したい。</p>	乾物卸売業
	<p>ふく、鮮魚とも入荷が少なく単価が上がっているのに、売上が上がらない状況。これからの年末商戦に品物が無いと困る。</p>	生鮮・魚介卸売業
	<p>配送費の値上げが収益悪化に影響してきている。</p>	各種商品卸売業
小売業	<p>依然客足は遠のいたままで、キャッシュレスもあまり効果がないような気がする。今の時期は新商品も無く厳しい時期で、組合員の店舗でも売上減少の様相である。新商品の予約活動や、お手入れのサービスなどによる次回来店への予約を取るような活動を欠かさず行うことが、今後の売上に影響すると考えており、組合員にも情報提供などを行って業界を盛り上げたい。</p>	化粧品小売業
	<p>10月以降、家電の売上が悪い。メーカーによる生産調整か、商品の品切れが多くなっている。年末需要とオリンピックに向けての需要に期待している。</p>	機械器具小売業
	<p>物販業・飲食サービス業とも小売業界は総じて良くなってきている。軽減税率・キャッシュレス・ポイント還元も消費者の多くが問題視しなくなり、ショックがやや和らいだが、事業者の混乱だけが続いている。消費は一時的に冷え込んだがほぼ回復してきている。歳末商戦へ向けた対策が急がれる。</p>	各種商品小売業 岩国市

	例年通り、秋のイベント、周南冬のツリー祭りも開催した。	各種商品小売業 周南市
	商店街支援センターによる「繁盛店研修」を行い、その一環として商店街有志によるリーフレットを作成中である。商店街一部のお店の紹介を載せており、お客様に配布し活用してもらえればと思っている。また、今月は「彩のまち長府キャンドルイベント」があり、商店街にもかなりのお客様に来て頂いたもようである。年末には「大歳の市ガラボン抽選会」があり、商店街一丸となって盛り上げていきたい。	各種商品小売業 下関市
	11月末に2テナントが退店となり、売上、客数ともに6割台になっている。尚、11月20日より閉店セールチラシを入れており、組合全体が12月31日にて閉店の予定。	各種商品小売業 長門市
商店街	旧百貨店跡地の利活用の方向が発表されたが、今後の地域活性化のために民間の活力の取り入れ方が議論になっている。未だ先が見えない。	宇部市
	消費増税の関係か、商店街各店舗の客数が減少している。特に消費者の声は食料品の価格が上がっていると言っており、店主もこの点で販売方法に苦慮している模様で、年末に向け価格が上がらなければ良いと言っている。	萩市
サービス業	消費増税に伴いキャッシュレスが徐々に広がっている。これまでは、総売り上げの10%にも満たないクレジットカードの利用率であったが、10月に15%を超え、11月は電子マネーの支払いを含めると20%を超える勢いである。利用手数料の増加は、各店独自のポイントカードのポイントを付けないことで対応している。	美容業
	消費者ニーズの多様化や節約志向により、個人消費が低迷している状況にある。	理容業
	2019年4～10月までの継続検査台数(車検台数)が、対前年比で▲2万6千台、率にして▲12.0%となっており、大変厳しい状況となっている。減少の要因は明確になっていないが、過去のリーマンショックや2度にわたるエコカー補助金などが影響しているのかもしれないが、この減少幅は、整備事業者の経営にとって大きく影響することから、これから年末に向けて心配な要素となっている。また、自動車整備業界においては、整備工場の「倒産」話はあまり耳にしなかったが、ここに来て県内で整備工場が倒産したという情報を数件耳にするようになってきており、経営状況は深刻なのかもしれない。	自動車整備業
	人手不足が継続中。消費増税の影響はあまり感じない。競争は激しい。	スポーツ・健康教授業

	<p>10月の衣替えシーズンが遅れて11月に来た模様で、10月の売上は伸び悩んだが、11月は昨年を超えている。組合員店も売上増加の模様である。しかし、遡ってみると年々売上は減少傾向にあり、クリーニング業としての新たな価値の創造と、気候変動に左右されない経営が必要となっている。</p>	普通洗濯業
	<p>10月から2ヶ月連続して2桁の売上減少が続いている。理事会で原因究明したい。</p>	旅行業
	<p>組合15施設の宿泊人員は前年同月比91%、売上高91.4%で前年割れとなった。昨年10～11月には県外信用金庫の積立旅行2,500名の特需があったが、今年はこのようなものがなかった。一方、今年度加入新施設の宿泊人員を加算すると105%と昨年前年を上回る状況であり、既存の施設から新施設に流れていることが推察されるが、湯田温泉全体でみれば宿泊人員は増加している。売上高は新施設を加算しても、対前年同月比95%となり前年を下回っているが、これは、県外信用金庫の積立旅行が高単価であったためである。</p>	旅館業 山口市
	<p>11月の売上高は前年と変わらず。価格の前倒し値上を実施したので、この度の消費税の増税による値上を見送った。利用者を増加するための情報発信が求められる。</p>	旅館業 長門市
	<p>天気に恵まれ、観光客は順調に来ているが、韓国ツアー客のキャンセルが目立った。</p>	旅館業 下関市
	<p>年末に向けて、団体の予約が多くなっている。</p>	飲食業
建設業	<p>中電への工事申請214件(当支部185件)、前年同月335件(同283件)。太陽光発電への申請62件(前年112件)、オール電化申請109件(前年174件)。LED街路灯への切り替え・新設申請33件(前年32件)であった。</p>	電気工事業
	<p>工事量は2年前より減少気味であるが、技能者数及び事業所規模の縮小のためその影響は大きくない。但し、技能者を多く抱えている事業所は苦勞している。左官技能者は全国レベルで平成7年から約7割減少している。</p>	左官業
	<p>11月も、まあまあの天候で順調に仕事をこなし忙しくしている。11月でほぼ今年度の発注が終わり、1月に残り少量の発注がある程度である。人員不足は益々深刻化しており、以前より仕事の絶対量が減少しているにもかかわらず、人手不足のために入札に参加できなくなっている。従業員は家族・親戚の集まりに化し、会社規模が縮小している。</p>	管工事業

	各社、受注工事の消化に忙しそうだが、新築着工物件のうち、瓦屋根の物件の減少が著しく、先行きが大いに不安な状況。	屋根工事業
	一部地域は繁忙期と話しているが、全体的には一時的に工場稼働率がやや下がっている。	鉄骨・鉄筋工事業
	昨年の災害復旧工事により工事量の不足が無い状況。地域住民の必要な工事で充足されるのが本来の姿だが、競争の激化も想像される。人手不足の問題は各業者が即戦力になる人材を求めており、積極的に雇用の拡大を必要としているようでは無い。	土木工事業 柳井市
	11月の受注高は、対前年同月比159.3%。今年度の累計は、対前年比91.4%。	土木工事業 萩市
運輸業	前年同月比で売上高が減少しているが、収益状況が好転している要因は、組合間の手数料率を改定等によるもの。	一般貨物自動車運送業 周南市
	輸送関係は相変わらずのドライバーの人材不足と物流停滞が続いており、輸送量と売上ともに前年同月比で約12%の減少。運転手の高齢化と働き方改革による労働時間の制限により長距離運行が困難となり、売上が大きく減少した。若年ドライバーは皆無に等しい状況である。燃料費は前月より0.5円の値上げ。軽油引取税の一考を強く望むものである。	一般貨物自動車運送業 下松市
	11月の輸送売上高は、前年割れとなる見通し。自動車関連については明るい見通しが見いだせなくなっている。燃料費に関しては落ち着いている。	一般貨物自動車運送業 防府市
	物流関係は、倉庫保管案件が非常に増えてきており、それに付随して細々した運送案件も増加してきている。この度12月より市内に新倉庫7棟が上棟するが、予約で既に空きが少ない状況にある。保有倉庫だけでは足りないので外注倉庫での対応も行っている。これから年末に向けて物量・荷動きともに激しくなることが予想される。	一般貨物自動車運送業 宇部市

	<p>タクシーチケットの取扱い金額（税込み）は、前年比▲9.4%（令和1年10月1日～令和1年11月20日分）。10月1日～31日分は▲10.84%、11月1日～20日分は▲9.0%。消費税増で料金改定されたが、利用料、回数が大幅に減少したため、10%近い減少となっている。当組合の取扱いタクシー事業者は、光市、下松市、周南市、防府市の地域。10月分については、周南▲10.5%、下松▲14.1%、光▲23.7%、防府市地区が▲12.1%で、組合員の全域では▲12.2%、地区外（員外）+12.9%、合計▲10.8%（▲2,473千）円であった。昨年、企画事業（すもう周南場所）、事故（大島大橋、豪雨災害でJR山陽本線不通）の影響もあると思われるが、得意先別の増減については、月別や個別企業や部門により、全体として大幅な減少になっているといえる。消費税増税に伴い基本料金等が改正されたが、取扱い金額の総額だけでなく、チケット1枚当たりの平均利用金額も下がっており（前年1,917円 今年1,882円）個人消費の冷え込みの現われと思われる。主要燃料であるLPGについては、CP（通告価格）と為替に連動して変動。CPが上がり（前月360.0\$/トンが今月397.5\$/トン、前年645.0\$/トン）、輸送用バンカーC重油も上がり（前月381.0\$/トンが今月458.0\$/トン、前年468.0\$/トン）、為替は前月107.32円/\$が108.45円/\$）。燃料単価は前月より+4.92%上昇したが、前年9月分比は▲21.0%と下がっている。タクシー乗務員は労働条件が厳しい（賃金が少ない）事もあって慢性的に不足している。前年同月の臨時需要の反動もあるが、消費税増税による個人消費の冷え込みが、年末の繁忙期までに回復することを願うばかり。</p>	一般旅客自動車運送業
	<p>対前年比としては、今月も取扱高は、多少減少している。</p>	港湾運送業
<p>その他 非製造業</p>	<p>インドネシア人の技能実習生の受入に伴い、今月よりインドネシア人通訳を採用している。職種追加も申請中で、今後ますます業務が多くなる予定。今後も組合員へのサービス向上のため、皆で取り組む。</p>	介護事業